

1/31 「関取目指す」神哲平さん角界入りを報告 大相撲・西岩部屋への入門報告

大相撲・西岩部屋への入門が決まった町出身、木造高校3年の神哲平さんが町役場を訪ね、相川町長にこれからの意気込みを語りました。

神さんは小学2年生から鶴田相撲道場に通い、昨年7月の県高校総体個人の部で優勝し、インターハイに出場しました。

神さんは「大相撲の世界は憧れていたもので、とてもワクワクしている。ケガをしない体をつくり、関取を目指したい」とこれからの意気込みを語りました。

神さんは3月1日の新弟子検査に合格し、3月場所の前相撲に挑みました。



これからの活躍を誓った神さん（左）



入居者との交流会で談笑する参加者

2/8 首都圏在住者が冬の津軽を視察 TSURUTA LABO サテライトオフィス見学・体験モニターツアー

地域活性化支援センター「TSURUTA LABO」で、県外在住で地方でのサテライトオフィス開設に関心のある方を対象としたモニターツアーが行われました。

ツアーには男女5人が参加し、町の観光名所や近隣地域を回り冬の津軽の美しさ、雪の大変さを感じていました。

また、地元の農家有志でつくる「華の会」による郷土料理作り体験や、すでに同センターに入居している利用者との交流会も開かれ、参加者たちは町の暮らしについて理解を深めていました。

2/12 町消防団に災害活動車両等が交付される 公益財団法人日本消防協会 防災学習・災害活動車両交付

（公財）日本消防協会から鶴田町消防団に、消防団防災学習資機材・災害活動車両が交付されました。

この交付事業は、同協会が（一財）日本宝くじ協会から助成を受け、地域住民に対する積極的な防災学習の活動が期待できる消防団に対して実施しています。

今回交付された車両は四輪駆動で10人が乗車できる輸送力をほこり、災害時には緊急車両として人員や資機材の搬送に活躍が期待されます。また、防災学習資機材は平时に、地域住民向けの防災指導などに活用されます。



今回交付された災害活動車両

地域おこし 協力隊通信

Vol.81（筆：毛利精悟）

年度末まで一か月を切りました。去る1月29日の北津軽郡社会福祉大会では現職とOB協力隊によるパネルディスカッション「よそ者から見た鶴田町」で進行役を務めさせていただきました。終了後の温かいご反応に感謝します。

近頃は妙堂崎のツルタラボ（旧水元中央小）を事務拠点として活動しています。2月上旬には、以前教室だった部屋をサテライト（離れた）オフィスとする視察ツアーに「お迎えする側」として参加しました。首都圏から参加の経営者は皆さん積極的で、移住や実際の暮らし等に関する具体的な質問が飛び交いました。

ツルタラボは有料施設もありますが、正面に岩木山が望める明るくスペースなど、無料で過ごせる場所もあります。休日には小学生たちが宿題をしている姿も見かけます。一度、お気軽に訪れてみてはいかがでしょうか。



①ツルタラボと岩木山 ②社会福祉大会でのようす ③毛利さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。

2/22 自慢の頭で“ハゲ”しく戦う ツル多はげます会 新春の有多毛

NPO 法人ツル多はげます会（須郷貞次郎会長）は「ツルツル」の語呂にちなんだ2月22日、春の例会「新春の有多毛」を町内の山田温泉で開きました。

県内外から26人が参加した例会では、穴の開いた絵から出した頭を見て誰の頭かを当てる「平和の光当てクイズ」や、的となるハゲ頭めがけて冷却シートを投げる「ハゲピタダーツ」が行われました。そして、はげます会名物の吸盤綱引きでは、行事の「ハゲよい残った」のかけ声と同時に激しい攻防が繰り広げ、会場を沸かせていました。



△吸盤綱引きで優勝した神成さん



雪室からリンゴを取り出した児童たち

2/20 雪の恵みを受けた リンゴを味わう！ 鶴田小学校5年生 雪室リンゴ掘り出し体験

鶴田小学校の5年生約30人が町のリンゴ生産者中野光彦さんの自宅敷地内で雪室リンゴの掘り出しを体験しました。

中野さんは昨年12月にリンゴ約200箱を雪室で貯蔵。児童たちはスコップを使って自分たちの身長より高い雪山から交代で雪を取り除き、サンふじや王林など7種類のリンゴ計16箱を掘り出しました。

掘り出したばかりのリンゴを試食した児童たちからは「甘くておいしい」や「シャキシャキで甘い」など歓声が上がっていました。

地域おこし 協力隊通信 Vol.82（筆：帯川 匠）

みなさんこんにちは。突然ですが鶴田町に住んでいる人なら一度は聞いたことがあると思いますが、この時期に開催される『鶴田御膳』をご存じですか？私は鶴田町に来るまで知らなかったのですが、なんとこのイベントは町農家の女性たち「華の会」が自ら育てた農産物で郷土料理など13品を提供するというのです。

今回、私もスタッフとして参加させていただき配膳などをしたのですが、どの料理も色鮮やかで美しく、時折漂ってくる食材のいい香りが常に食欲を誘っていました。もちろん訪れた人たちからも「美味しい」の言葉をいただき、調理方法が知りたいという人もたくさんいました。ぜひ皆さんにも味わって欲しいのですが、この鶴田御膳は期間限定でこの時期に事前にチケットを購入しなければ食べることができないのです。この記事が出る頃には、今年分の鶴田御膳が終了しているかもしれませんが、チャンスがあれば皆さんも一度、ご賞味あれ！



▲華の会の鶴田御膳のお手伝いをした帯川さん

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。